

[Reference 11]

Japanese Utility Model Publication No. 36-24129

Disclosure Date: February 1, 1958

Applicant: Umido

Title of Invention: Synthetic Resin Stick-shaped Portable Container for Cosmetics

A container in accordance with the present invention is made of a synthetic resin material and it has small containers 1. Each container is connectable to another container. Therefore, a lid can be removed from the upper most container to use a cold cream therein and it can be connected to the bottom side of the entire container to use another type of cream in the second container.

125 L 2

特 許 庁
実 用 新 案 公 報実用新案出願公告
昭36-24129

公告 昭36. 9. 15 出願 昭33. 2. 1 実願 昭33-4322

考 案 者 海 渡 一 郎 東京都中央区日本橋横山町7番地1
出 願 人 株 式 会 社 海 渡 同 所
代理人 弁理士 井 上 清 子 外2名 (全2頁)

合成樹脂製携帯棒型化粧用品容器

図 面 の 略 解

図面はこの実用新案を示すもので、才1図は斜
面図、才2図は縦断面図、才3図は分離した状態
の斜面図である。

実 用 新 案 の 説 明

この実用新案は、合成樹脂で形成し、底部下方
に凹陷部3を設け上げ底に作った円筒状本体1の
口部2外周を削欠し該部に雄ねじ7を刻設し、前
記凹陷部3の内壁に雌ねじ7を刻設した小容器1
……を、上位小容器1の底部凹陷部3の雌ねじ7
に下位に重なる小容器1の口部2の雄ねじ7を螺
合して順次積重わかつ最上位の小容器1の口部雄
ねじ7に同径の蓋4をその雌ねじ7を螺合して被
着させ、最下位の小容器1の底部凹陷部3内壁の
雌ねじ7に同じく同径の底蓋5を、その雌ねじ7を
螺合して取付け小容器1……と蓋4と底蓋5とを
全長が同径の1本の棒状体に成るように形成する
と共に小容器の各単体を任意にその位置を循環係
合せしめて成る合成樹脂製携帯棒型化粧用品容器
の構造に係るものである。6は蓋4内部に嵌入し
た鏡である。

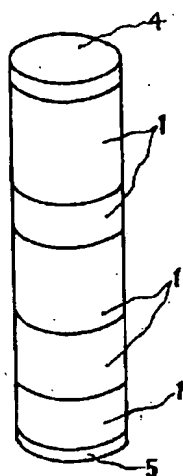
この実用新案は上記のように多数の小容器1と
蓋4と底蓋5とが同径で、係合用の雄ねじ7はそ
れぞれ本体1の口部2外周を削欠して設けてあり
また雌ねじ7は小容器1の上げ底下方の凹陷部3
内壁に刻まれているので、小容器を、上位のもの
の底部凹陷部3の雌ねじ7に下位のものの口部雄
ねじ7を螺合して順次積重わて、最上位の小容器
の口部2に蓋4を螺合し、最下部の小容器に底蓋
5を螺合すると上から下まで同径の1本の棒体と
なり全然凹凸部がないからポケット、ハンドバッ
グ等の中に入れても他物に引つかからず、量ばら

ず持ちよく、しかも各容器は互いに位置を変えて
互いに係合する構造にしてあるから、例えば最上
位の小容器から蓋を外し、その中のコールドク
リームで化粧を落し、この容器を最下位に廻し、
つぎに才2位の小容器の中のベISINGクリーム
を頭にひき、この容器をまた最下位に廻し、才3
位の小容器の中の白粉を使用してこの容器を最下
位に廻し、つぎに才4位の小容器の中の口紅を唇
にさす等常に所望の化粧品を最上位に置きながら
1本の棒体として片手に持ちつつ使用できるので
特に劇場、ステーション等立つたままでの化粧に
も便利であり、この際コンクリートの床や舗道に
落しても円筒状の棒状であるから丈夫で損傷する
ことがない等携帯用化粧用品容器として類のない
顕著な作用効果をもたらすものであり。

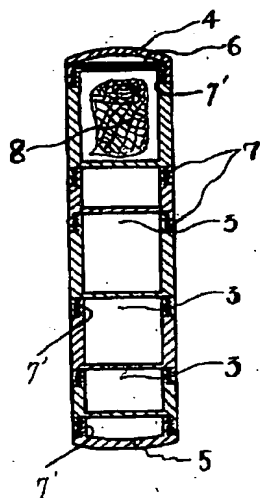
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示すように、合成樹脂で形成し、底部下
方に凹陷部3を設け上げ底に作った円筒状本体1
の口部2外周を削欠し該部に雄ねじ7を刻設し、
前記凹陷部3の内壁に雌ねじ7を刻設した小容器
1……を、上位小容器1の底部凹陷部3の雌ねじ
7に下位に重なる小容器1の口部2の雄ねじ7を
螺合して順次積重わかつ最上位の小容器1の口部
雄ねじ7に同径の蓋4をその雌ねじ7を螺合して
被着させ、最下位の小容器1の底部凹陷部3内壁
の雌ねじ7に同じく同径の底蓋5を、その雌ねじ
7を螺合して取付け小容器1……と蓋4と底蓋5
とを全長が同径の1本の棒状体に成るように形成
すると共に小容器の各単体を任意にその位置を循
環係合せしめて成る合成樹脂製携帯棒型化粧用品
容器の構造。

第1図



第2図



第3図

